

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI指定記事

地域社会が主導する開発とは

10月にはロータリーの「地域社会の経済発展月間」です。持続可能で活気ある地域社会を築けるよう支援する取り組みに光を当てる機会であり、ロータリーの中核的価値観の一つである「リーダーシップ」とも完全に一致しています。

リーダーシップとは、人々に自らの進歩を導けるような力を与えることです。まさにそれが、ロータリーの経済発展プロジェクトの目標です。

例えば、南インドで行われた最近の取り組みでは、ロータリー会員がインドの先住民族・アディバシの女性にミシン縫製の訓練を提供し、自立と社会復帰への道を開きました。この地域では、歴史的に、夫を亡くした女性や、家族に見捨てられた女性が社会的地位を失い、差別されたり、不幸の責任を負わされたりしてきており、自立や訓練の機会はごく限られていました。しかしこの活動により、彼女たちは生計を立て、再び社会に参加できるようになったのです。

今年、カナダのウィンザー・ローズランド・ロータリークラブ(RC)は、インドの第3203地区と第3234地区のクラブ、さらに現地団体「Sevalaya Trust」と協力し、80人のアディバシの女性にミシンと縫製訓練を提供しました。女性たちは、サリー用のブラウスやクルタ(膝丈までの長袖の上衣)、サルワール(ゆったりしたズボン)などの民族衣装を縫う技術を学び、自分や家族を養う手段を得ました。社会から孤立していた女性たちに、貴重な収入と尊厳を取り戻す機会を与えたのです。なおこのプロジェクトは、ミシンの長期的な無料メンテナンスを約束しています。

このストーリーは、ロータリーのリーダーシップを体現する一例です。地域の人々が、自らの課題に応じた解決策

を導いているのです。私たちの役割は、単なる慈善や外部モデルの押し付けではなく、リーダーシップや技能を伝え、持続可能な事業に投資することで自立を促すことです。

この10月、私はロータリー会員の皆さんに、地域社会における経済的リーダーシップについて考えてみていただきたいと思います。地元で経済活動を主導しているのは誰でしょうか？研修やメンターシップによって伸ばせる、眠れる才能はどこにあるのでしょうか？クラブが地元企業、専門学校、信用組合などと連携して、新たな機会の橋渡しになれるとしたら？

リーダーシップとは、必ずしも前面に立つことではありません。人の声に耳を傾け、協力し、他者の声を広めることもリーダーシップです。そうした姿勢こそ、ロータリーの理念の核心であり、経済発展における私たちの持続的なインパクトの基盤なのです。

小口融資グループ、職業訓練、起業支援プログラムなどを通じて人々の能力を育てることで、地域が自ら変革を導く力を得ることができます。自らの進歩を自らの手でつかむとき、変化は持続可能になります。

善意を持って導き、真心を込めて支援しましょう。地域のリーダーシップを育むことで、私たちは、個人や家族、社会全体に波及する機会を生み出すことができます。

誰もが恩恵を受けられる経済を支え、持続可能な地域発展プロジェクトを共に実現していきましょう。

フランチェスコ・アレツツォ

2025-26年度 国際ロータリー(RI)会長